

「緑会の母体となる学科の変遷」

1905年（明治38年3月28日）

名古屋高等工業学校創設。色染科を設置

1939年（昭和14年3月）

色染化学科に改称、色染分科及び合成分科を設置

窯業分科を設置（昭和16年）

1942年（昭和17年4月）

名古屋高等工業学校第二部（夜間）発足（昭和23年3月廃止）

工業化学科を設置

1944年（昭和19年4月1日）

名古屋工業専門学校に改称。化学工業科となる。

窯業分科は、窯業科となる（昭和20年4月）

1949年（昭和24年5月31日）

国立学校設置法施行 名古屋工業大学発足

工業化学科を設置

1954年（昭和29年4月）

名古屋工業大学短期大学部発足（昭和36年3月廃止）工業化学科を設置

1959年（昭和34年4月）

第二部（夜間）工業化学科を設置

1961年（昭和36年4月）

名古屋工業大学附設工業教員養成所発足（昭和44年3月廃止）

工業化学科を設置

1964年（昭和39年4月）

大学院工学研究科修士課程工業化学専攻を設置

1967年（昭和42年4月）

合成化学科を設置

1971年（昭和46年4月）

大学院工学研究科修士課程合成化学専攻を設置

1985年（昭和60年4月1日）

工業化学科と合成化学科を応用化学科に改組

第二部（夜間）工業化学科を応用化学科に改組

大学院工学研究科に応用化学科と材料工学科（有機材料コース、無機材料コース及び金属材料コースを設置）を基礎とする物質工学専攻博士課程を設置

2004年（平成16年4月1日）

国立学校設置法が廃止され、国立大学法人法により国立大学法人名古屋工業大学設立

応用化学科と材料工学科の有機材料コースを合併し、生命・物質工学科を開設。緑会の所属となるのは、物質化学プログラムと生物生命プログラムの卒業生

第二部（夜間）応用化学科を物質工学科に改組

大学院工学研究科に独立（学科を基礎としない）専攻として、創成シミュレーション工学専攻博士課程及び未来材料創成工学専攻博士課程を設置、一部の修了生は緑会の所属

2016年（平成28年4月1日）

生命・物質工学科と環境材料工学科のセラミックス系プログラムを生命・応用化学科に改組。緑会の所属となるのは、生命・物質化学分野の卒業生

大学院工学研究科を改組。緑会の所属となるのは、生命・応用化学専攻の生命・物質化学分野の修了生